

北海道恐竜・化石ネットワーク 始動

「北海道恐竜・化石ネットワーク研究会」（道総合政策部地域振興局地域政策課 が推進）が具体的な活動をはじめました。

1月13日には、「北海道化石フェスト19」が北海道博物館で開催され、足寄から出展した「北海道名物 ミニ発掘」は大好評でした。研究会のホームページも開設され、北海道の化石・化石博物館の活動が発信されています。

この研究会には、足寄町のほか、三笠市、小平町、中川町、むかわ町が参加しており、さらに化石関係で活動している市町村に加入を呼びかけています。



北海道化石フェスト2019（北海道博物館グランドホール）での
「北海道名物 化石体験 ミニ発掘」のブース

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる
指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

No. 149
2019年 3月20日発行

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101
staff@museum.ashoro.hokkaido.jp http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp

（年4回発行）

（博物館だよりpdf版あり）

札幌産のクジラ化石 3Dモデル 制作協力

札幌市から大きなクジラの化石が2008年に発見され、札幌市博物館活動センターでは、発掘とクリーニング、そして研究が、今まさに進行中です。

足寄動物化石博物館は、このクジラ化石の復元作業に協力しています。昨年度は骨化石の一部のレプリカを製作しました。今年度は、3Dモデルを製作しました。

このクジラ化石はとても大きく、石になって重いので、背骨一個でも10キロほどもあります。こんなに大きな骨を動かすのは骨が折れます……。そこで、骨化石の3Dモデルを製作し、パソコン上でくみ上げる作業をおこないました。

図の左が骨化石（レプリカ）、右が3Dモデルです。どうです。似ていますよね？ 写真を大量に撮り、パソコン上で3Dのモデルを作る技術（フォトグラメトリー）を用いて作りました。

近い将来、足寄博物館で行われた3Dモデルが公開されると思います。 乞うご期待！



骨化石（レプリカ）



骨化石の3Dモデル

科学雑誌 読もう+英語の勉強も

博物館コミュニティルームでは、いろんな科学雑誌を閲覧できます。

日本語もあれば英語のものもあります。月刊もあり週刊誌もあります。新しい号が本棚に並んでいますが、過去の号も、本棚のなかに隠れています。見方は職員にたずねてください。

でも、うんと**古いもの**は……。博物館内に置き場がなくなってきました。そこで……。**さしあげます**。手はじめに、アメリカで発行されている週刊の科学雑誌。論文が主体ですが、解説の記事もあります。英語の勉強に使ってみてはいかがでしょうか。

博物館ロビーに場所をつくります。自由にお持ちください。**4月27日から**はじめます。

2019年度 前半の行事予定

日にち	行事	申込
5月12日(日)	探鳥会 足寄町里見が丘公園周辺	
12日(日)	石はみがくと玉になる 十勝石みがき	
6月 2日(日)	化石教室「螺湾・モラワン」足寄の化石のふるさと	必要
7月 7日(日)	化石教室「阿寒」タカハシホタテなど発掘	必要
13日(土)	「化石体験」夏の特別版 開始 (8月31日まで)	
28日(日)	化石教室「右股」3000万年前の貝化石採集	必要
8月31日(日)	バロックコンサート 11回	

化石教室の詳細は次号(4月発行)で

化石体験 夏の特別版(プレミアム) 予告

ミニ発掘 プレミアム

- ◇ ダイヤモンド
- ◇ ルビーとサファイア
- ◇ アメジストとシトリン
- ◇ デスモスチルス臼歯のかけら

日にち限定

日にちを違えて提供します
 詳しい日程は「博物館だより」7月発行号で
 クリスタルごとに材料費がちがいます

石みがき 2019夏版

- ◇ アショロア模様入り十勝石
- ◇ ポツワナ アゲート(メノウ)
- ◇ 日高山脈 片麻岩
- ◇ ザクロ石入り角閃石片岩
- ◇ ストロマトライト
- ◇ 恐竜の骨 そのほか

7月13日～8月31日 毎日

石ごとに材料費がちがいます
 モクモクと1時間みがきます
 1時間で仕上がらないものがあります
 数の少ないものもあります

足寄町郊南の「足寄湖」に集結した渡り鳥たち 雪の少ない今年は どんなふるまいをみせるでしょうか

第1回

3月31日（日） 午前8時 集合
足寄湖周辺に移動

第2回

5月12日（日） 午前8時 集合
里見が丘公園に移動

集合はどちらも
博物館駐車場です

2時間くらいです

防寒着、長靴、双眼鏡、
カメラ、筆記具など
ご用意ください

「地質の日」協賛 「石はみがくと玉になる」

5月10日は「地質の日」。北海道開拓使の米国人技師BSライマンが、1876年5月10日、日本で初めての地質図を刊行したことにちなんで制定されました。

全国の博物館や大学などで、地質に関する行事が開催されています。足寄博物館では、毎年、石をみがいて、ツルツル・ピカピカにする「石みがき」ををおこなっています。

5月12日（日） 10時～12時
博物館 化石工房集合
申込不要 材料代・入館料不要

館で提供するのは「十勝石」。半分に切ってアショロアの骨格の絵（去年の夏から泳いでいる姿です）をつけたものを、**1時間**かけてみがきます。「玉＝宝物」といってもいい仕上がりをめざしましょう。



およぐアショロア入り十勝石

足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



開館20年＝ふた昔前の開館、でした。ようやく一人前、と昨年3月に書きました。入館者の増加が、世間に認められつつあることを示している・・・いや、まだ早い。展示も化石体験も充実しなきゃ。